

氏名	豊川達也
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Characterization of elongated <i>Helicobacter pylori</i> isolated from a patient with gastric-mucosa-associated lymphoid-tissue lymphoma (胃マルトリンパ腫患者から分離された長い菌体の <i>Helicobacter pylori</i> の特徴)
論文審査委員	教授 吉野 正 教授 山田 雅夫 教授 谷本 光音

学位論文内容の要旨

Helicobacter pylori (以下 *Hp*) は胃粘膜に感染し、様々な疾患を起こす。近年 *Hp* 以外の *Helicobacter* 菌株もヒトの胃粘膜に感染し、疾患と関与していると言われている。本研究では、胃内視鏡検査を受けた患者の生検材料を種々の条件、培地で培養し、病理組織切片の螺旋菌の検索を行った。その結果、胃マルトリンパ腫と診断され、*Hp* 感染陰性（他院にて培養など陰性）患者の生検材料を培養したところ、炭酸ガス培養でチョコレート寒天培地のみから、微少なコロニーが培養された。形態は、通常の *Hp* より長い菌体であり、*Helicobacter heilmannii* (以下 *Hh*) 様であった。蛋白や免疫抗原性の検索で *Hp* と似通っており、ウレアーゼ B 遺伝子の PCR で *Hp* と同じサイズに Band が認められ、さらに 16SrDNA の塩基配列で *Hp* と 99.6% の相同性が確認され、*Hp* と同定した。電子顕微鏡では、通常の *Hp* より長い菌体であるものの、*Hh* とは異なり螺旋の強くない形態であった。以上から、*Hp* の中には、培養条件や形態が通常の *Hp* とは異なる菌株が存在することが明らかとなり、*Hp* 感染疾患の診断、治療には注意を要すると考えた。

論文審査結果の要旨

本研究は、胃 MALT リンパ腫症例より分離された *Helicobacter pylori* のうち通常のそれより長い形態を示すものを分離し、その性状を光顕、電顕、PCR 法、Western blotting 法を用いて検索したものである。検索の結果、*Helicobacter heilmanni* 的な長さを有するものの、DNA homology, 蛋白パターンなどから *Helicobacter pylori* と同定された。このような形態がどのような機序により起きるかは不明であるが、このような菌体の存在に注意すべきであると結論している。実験の目的、手法、結果とその解釈とも適切になされており、*Helicobacter* について重要な知見を得たものと評価される。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。